

総務常任委員会の副委員長となり、

一中地区における防災対策を要望!



消防団員としても、活動しています!

平成30年度 第3回定例会(9月14日)
思い起こせば今年も災害の多い年です。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、8月の台風21号、そして9月の北海道いぶり東部地震、またこの夏の炎热的な猛暑もそのひとつです。こういった未知の脅威を前に、われわれは経験から学び、教訓を生かして、防災減災に繋げていくことが大切かと考えます。

一中地区における防災備蓄

地元地域である第二中学校の周辺地域でも高齢者や被災された場所柄、指定避難所だけでなく地域の公民館等に避難する方もいらっしゃると思います。しかし、地元自治会が公民館等で備えている備蓄だけでは十分でない可能性も考えられます。食糧や毛布等の備蓄に関しては、市では指定避難所に防災倉庫を整備し備蓄しています。食糧や水については、一箇所当たり一律に700人の避難者を想定し、1日分に相当する量を備蓄しているほか、毛布等の生活用品についても相当数をストックしています。これらの備蓄品は、基本的には市の指定避難所で使用することを前提に備蓄しているものですが、地域の避難所で備蓄品に不足が生じているような場合には、これらを融通して補うほか、外部から寄せられた支援物資を配分すること

二次避難所開設までの流れ
総合防災マップでも一次避難所と二次避難所とで分けて掲載しておりますが、それぞれの役割は理解しつづも、市民の方からは「災害発生時に二次避難所に避難してはいけないのか」「夜間等、二次避難所は解錠空されているのか」「二次避難所より二次避難所のほうが近いのだが」という声を今も聞きます。

一中地区では、桃井小学校をはじめ、第一中学校、城南小学校が二次避難所の指定を受けておりますが、二次避難所の開設までの流れは、避難所ごとに予め2名ずつ避難所参集職員を指名しており、避難所の鍵を保有するようにしています。地震であれば震度5強以上を観測した場合に、また水害の場合は避難情報を発令する時点で、避難所参集職員が担当する避難所に向かい、避難所を開設する体制をとっています。

つまずき一次避難所においては、職員がくるわけではなく、自分たちで扉を開け、一時的に留まる場であり、当然に体育館や校舎へ入れるわけはありません。二次避難所においても職員の方がくるまでは同様の対応となることから、避難所開設までタイムリーに動いて頂くようお願いするとともに、発災時が夜間や悪天候時のことも考えられることから、避難されてきた方が安心して過ごせるようお願いいたします。

停電時の避難所の運用

今回の北海道いぶり東部地震では、道内全域で停電が発生し、多くの被災者が不安や不便を感じたとの報道がありました。本市ではすべての指定避難所の防災倉庫の中に、電池で駆動可能な懐中電灯やランタンを備えているほか、カセット式のガスボンベで駆動する小型発電機を配備しており、本部との連絡調整用機器や照明等の電源として活用することとしています。被災者は不安の中、灯りがあることで、安心させることができます。また、電源は灯りに限らず、携帯電話等の充電でも必須となります。昨今は、災害対応型LPガスバルク供給システムなどもあります。まず、電源確保に配慮頂けるようよろしくお願い申し上げます。

ジャッキやバールの準備

わたし自身も防災士として「災害は起こらないでなく、起こる規模」であると考えております。近年の大規模な都市直下地震の中では阪神淡路大震災が挙げられますが、死亡原因として最も多かったのが家具の転倒や建物の倒壊による「圧死」でした。実に77%の方がこれによりお亡くなりになられたわけですが、これは平成28年の熊本地震でも、先の北海道地震も同様の原因で死傷された方がおります。過去の災害の経験から、災害時には地域住民同士の共助によって救命される場合が多くあります。建物が倒壊してしまつた場合には、ジャッキやバールの準備が必要であると考えます。

自主防災会においては、防災訓練経費補助金を行っておりますが、先の電源もそうですが、ジャッキやバールにおいても、備蓄の案内をしていただけるようお願いいたします。

前橋駅での帰宅困難者対策

本市の地震災害によって帰宅困難者が発生した場合の対応については、まずはJR各駅が安全で一次滞留の可能な場所に乗客を誘導し、受け入れを行った上で、本市があらかじめ指定する避難場所の状況を本市に確認し、帰宅困難者を案内することとなります。具体的に前橋市内のJR東日本各駅にて帰宅困難者になった場合の避難場所については、前橋駅は中央小学校跡地、前橋大島駅は第五中学校、駒形駅は筑井小学校、新前橋駅は東中学校、群馬総社駅は第六中学校をそれぞれ避難場所として指定しております。現在、旧中央小学校は避難所の指定をされておられません。地元地域であることや、他の誘導される避難所においても、近隣の住民も避難されることから、それも含めた対応をお願いいたします。

一中地区における避難所の浸水想定

先日の西日本豪雨災害では、倉敷市真備町で、ハザードマップと浸水区域ほぼ合致したと聞きました。市で今回更新したハザードマップによると、風水害時第一中学校地域では、城南小学校が浸水想定区域に含まれていますので、指定避難所としては開設することができません。従いまして、近くの浸水しない避難所に逃げていただくこととなります。

下半期活動報告

陳情への対応① 家と道路の境界部が劣化による陥没が発見されたことから、すぐに補修を行いました(千代田町内)
陳情への対応② 車椅子やベビーカーがスムーズに入れるように要望(敷島公園)
陳情への対応③ 未舗装の道路からホコリがたつことから舗装を要望(元総社町内)

問い合わせ:t.hajime@almond.ocn.ne.jp

議員って普段、なにしてるの? つつみはじめ

本紙の制作に政務活動費は使用していません。政治活動の一環で制作しております。